

<ご参考>

三菱UFJニコス、クレジットカード不正使用検知システムにAI導入

～日々変化する不正手法を自動で機械学習、最新手口への柔軟・スピーディな対応へ、2月9日から～

三菱UFJニコスはこの度、クレジットカード不正使用被害の抑止を目的に、MUFGカード(三菱UFJカード含む)、DCカード、NICOSカードの不正使用検知システムへのAI(人工知能)導入を決め、株式会社PKSHA Technology(パークシャテクノロジー、本社:東京都文京区、代表取締役社長:上野山勝也、以下「PKSHA」)によるAIソリューション「PKSHA Security(パークシャ・セキュリティ)」の取り扱いを2月9日から開始します。

今回のシステムは、PKSHA独自のAIアルゴリズムを運用・サポートするSCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長 最高執行責任者:當麻隆昭)が三菱UFJニコスの不正使用検知システム向けにカスタマイズしたものです。AIを活用し、日々変化する不正使用の手法を自動で学習し続けることで、最新の手口にも柔軟・スピーディに対応し、不正検知の精度を一層向上させるものです。

近年、クレジットカード取引における不正使用の手法は著しく多様化・高度化しています。国内のクレジットカード発行会社の不正使用被害額は2014年以降増加傾向、2021年は過去最悪の330億円*、2022年は1-9月累計で309.2億円*(前年同期比1.3倍)で推移するなど高止まりが続いている状況です。

*一般社団法人日本クレジット協会(JCA) 2022年12月「クレジットカード不正利用被害の発生状況」より

当社は今後も、クレジットカード決済のセキュリティを一層高め、会員が安全・安心・快適にクレジットカードを利用できる環境整備に注力していきます。

<「PKSHA Security」の概要>

- ・過去の不正・犯罪検知プロジェクトでPKSHAが蓄積した知見・実績を集約させた不正・犯罪検知ソリューション
- ・PKSHA独自のAIアルゴリズム「トレンド追従型アルゴリズム」が、日々変化する不正手口のパターンを自動学習し、不正検知を高度化
- ・本プログラムをクレジットカードの不正使用検知システムと連携させることで、いち早く最新の不正手口への対応が可能。従来は見分けることのできなかった不正使用を高い精度で検知

以上